

様式第8（第22条関係）

平成30年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

30鹿財発第198号  
平成31年3月18日

秋田県知事 佐竹 敬久 殿

住所	秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1
氏名	鹿角市長 児 玉 一

平成30年6月29日付け指令資－463－1をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金交付規則第22条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

- (注) (1) 別紙は次の事業評価総括表及び事業評価個表の様式によること。  
(2) 用紙の大きさは、日本工業規格に定めるA4とし、横位置とすること。

別紙

I. 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鹿角市消防団消防機器材整備事業	鹿角市	6,390,000	4,400,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鹿角市消防団消防機器材整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鹿角市
交付金事業実施場所		鹿角市花輪字上花輪
交付金事業の概要		消防ポンプ自動車（CD-I）1台 車両本体：いすゞ エルフ 型式：TKG-NMS85AN-FE5W9GY-D 車台番号：NMS85-7003766 車両総重量：4,570kg 車長：574cm 車幅：188cm 車高：252cm 乗車定員：6名 4輪駆動

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>交付金事業に関する主要政策・施策  第6次鹿角市総合計画後期基本計画（平成28年度～平成32年度）  基本目標3 安心して住み続けられるまちづくり  施策大綱3-4 安全に暮らせる市民生活の確保  施策3-4-2 消防・救急体制の充実  火災や災害などから市民の生命と財産を守るため、消防力の強化を進めるとともに、救急救命率の向上を図ります。</p> <p>目標：救命率（目撃者がいた場合）28.0%（平成32年度）</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>平成28年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>		<p>平成32年度</p>	
<p>事業期間の設定理由</p>	<p>第6次鹿角市総合計画後期基本計画の終期まで</p>					
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 平成30年度</p>	
	<p>配備後20年を経過した消防自動車の車両更新率 100%</p>	<p>車両更新率： 更新台数（3台）÷更新対象台数（5台）</p>	<p>成果実績</p>	<p>%</p>	<p>60</p>	
			<p>目標値</p>	<p>%</p>	<p>100</p>	
			<p>達成度</p>	<p>%</p>	<p>60.0%</p>	
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>毎年度車両更新を行っており、更新後早期に評価を実施。</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
<p>本交付金の活用により、20年以上経過した消防ポンプ自動車を、走破性の高い四輪駆動方式としたほか操縦性を向上させたオートマチック車に更新することができた。今後も車両更新の際には装備・機能の充実を図り、地域密着型の消防団員の活動性を高めることにより、市民の生命、身体及び財産を保全する。</p>						
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>						
<p>無</p>						

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	配備後20年を経過した消 防自動車を毎年度1台更 新	活動実績	台	1	1	1
		活動見込	台	1	1	1
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
交付金事業の総事業費 等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考		
総事業費	5,260,000	4,777,000	6,390,000			
交付金充当額	4,400,000	4,400,000	4,400,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000	4,400,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
物品購入	指名入札	山口電気通信（鹿角市）	6,390,000			
交付金事業の担当課室	総務部財政課					
交付金事業の評価課室	総務部財政課					

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
  - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
  - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
  - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
  - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
  - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
  - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。

なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。